

ノッポの運転士さんと、チビの車しようさんが、やってきました。運転士さんはベルに、車しようさんはサンにのります。

おきやくさんたちものってきます。今は、もみじがりのきせつです。あつというまに、ぜんぶのシートがうまります。ピーッ！

車しようさんが、ホイッスルをふきました。さあ、しゅっぱつです。

山のふもとのえきを出ると、すぐに山をのぼりはじめます。

ガッタン ギン ガッタン ギン

えきまえのおんせんりよかんが、すぐに、下のほうへとおざかっていきます。

ガッタン ギン ガッタン ギン

きゅうなのぼり坂です。

「ふううう、ふうう、ガッタン ギン」

せんとうのベルは、モーターをフルかいてん。かおをまつかにしています。

「それいけ、それいけ、ガッタン ギン」

サンも、モーターをフルかいてん。力いっぱい、あとおしします。

「がんばれ、がんばれ、ガッタン ギン」

ニーナのモーターも、大きなおとをたてます。

キーッ コーッ キイイイイ  
カーブのたびに、しゃりんがきしみみます。

あまりにきついのはり坂では、つい、立ちどまってしまいます。

ところが、電車にのっていたおきやくさんたちは、かえっておよろこびです。

「ひゃーっ、すっごくふかい谷」

「川が、あんなに下にみえるわ」

「こんなところでとまるなんて、大サービスだ」

みんな、まどのそとにみとれています。

運転士さんと車しようさんは、電車のおくれをきにしていましたが、おきやくさんがよろこんでいるので、ほっとあんしんします。

つぎのしんごうじょで、いちじていしします。「スイッチバック」といって、すすむほうが、ぎやくになります。山がけわしいので、ジグザグにのぼるのです。

サンがせんとうになり、ベルがあとおしするばんです。

「あれあれ？ どうしたの？」

えきでもないのに、電車がとまって、おきやくさんたちは、ふあんそうです。

運転士さんと車しようさんが、せまいプラットホームを